

特別企画：岡山県 本社移転に関する企業調査（2008 年～2017 年）

2008 年～2017 年、県内への転入超過 30 社 2017 年は 3 年ぶりの転入超過に

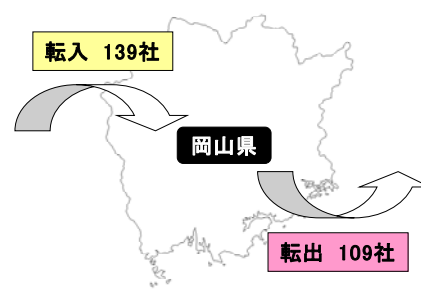
はじめに

人口の減少と東京への一極集中を背景に、近い将来に地方経済の衰退、自治体の運営不安が起こりうる可能性が現実味を帯びてきている。政府は 2014 年 12 月に閣議決定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を 2017 年 12 月に改訂し、地方創生への働きかけを一層強めている。今回の改訂に伴い、政府は「地方創生版・三本の矢」（1. 情報支援の矢、2. 人材支援の矢、3. 財政支援の矢）をテーマに掲げ、情報、人材、税制優遇などの面で、より具体的に地方創生を進めるための施策を実行している。

東京一極集中の是正による地方の発展が望まれる中、帝国データバンク岡山支店では、これまで岡山県内の企業が本店移転に関してどのような動きをしてきたのかについて、自社データベース・企業概要ファイル「COSMOS2」（147 万社収録）をもとに、2008 年～2017 年の 10 年間で「本店所在地の岡山県への転入が判明した企業」や「岡山県からの転出が判明した企業」を抽出、移転年別、業種別、年商規模別、転入企業の移転元、転出企業の移転先などの細かい分析を行った。

※本店所在地は本社機能のある事業所の場所を指し、商業登記の本店所在地と異なるケースもある

■岡山県の転入・転出社数 （2008 年～2017 年の 10 年間）



調査結果（要旨）

1. 2008 年～2017 年の 10 年間に、「岡山県へ転入した企業」は 139 社、「岡山県から転出した企業」は 109 社だった。移転年別でみると、「岡山県へ転入した企業」では 2013 年の 19 社が最多、2015 年の 7 社が最少。「岡山県から転出した企業」では 2016 年の 21 社が最多、2010 年と 2011 年の 6 社が最少。直近の 2017 年では、転入企業 13 社に対し、転出企業 11 社で 2 社の転入超過に
2. 業種別、転入は『製造業』『サービス業』、転出は『サービス業』がそれぞれトップに
3. 年商規模別、転入は『1 億円以上 10 億円未満』がトップに
4. 岡山県へ転入した企業の移転元、『広島県』（37 社・構成比 26.6%）でトップ。岡山県から転出した企業の移転先は『東京都』（29 社・26.6%）がトップに

1. 2008年～2017年、30社の転入超過(転入139社、転出109社)

○県外から岡山県へ転入した企業数

2008～2017の10年間で、県外から岡山県へ転入した企業は139社だった。年別でみると、岡山県に転入した企業が最も多かったのは、2013年の19社。一方、最も少なかったのは2015年の7社だった。

○岡山県から県外へ転出した企業数

2008年～2017年の10年間で、岡山県から県外へ転出した企業は109社だった。年別でみると、岡山県から転出した企業が最も多かったのは、2016年の21社。一方、最も少なかったのは2010年と2011年の6社だった。

■転入・転出社数の年別推移

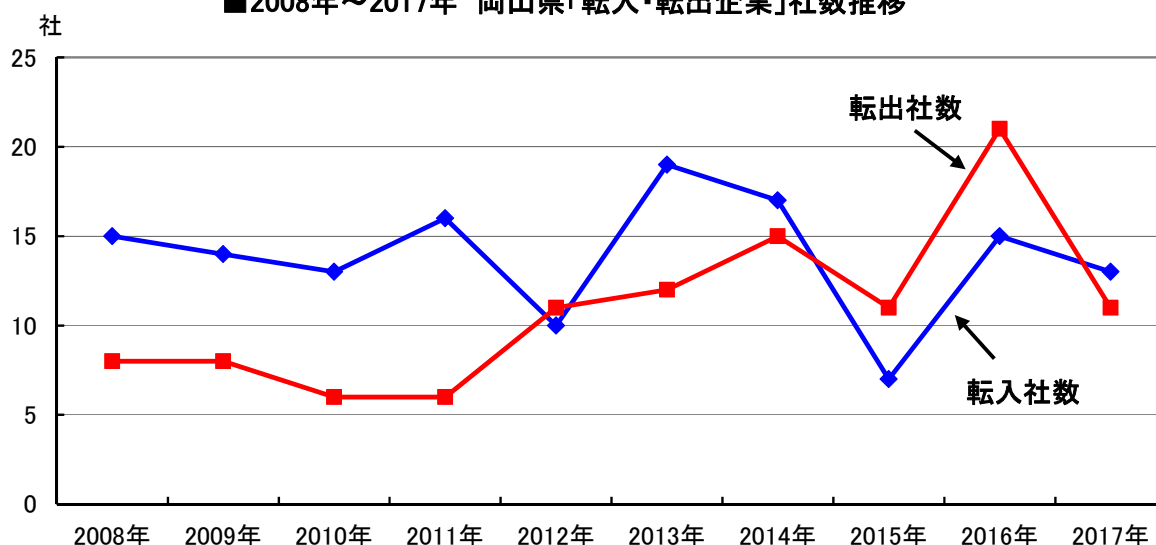
判明年	転入社数	転出社数	転入－転出
2008年	15	8	7
2009年	14	8	6
2010年	13	6	7
2011年	16	6	10
2012年	10	11	△1
2013年	19	12	7
2014年	17	15	2
2015年	7	11	△4
2016年	15	21	△6
2017年	13	11	2
合計	139	109	30

○転入・転出の比較

2008年～2017年の10年間で、転入した企業139社に対し、転出した企業が109社で、転入社数が転出社数を上回る「転入超過」が30社となった。

岡山県で、2008年～2017年の10年間で転入超過となったのは7回となった。「転入超過」が最も多かったのは、2011年の10社(転入16社、転出6社)で、転出社数に対して2倍以上の企業が転入した。なお、直近の2017年は転入した企業13社に対し、転出した企業が11社で、3年ぶりに転入超過となった。

■2008年～2017年 岡山県「転入・転出企業」社数推移



2. 業種別、転入は『製造業』『サービス業』、転出は『サービス業』が最多に

○県外から岡山県へ転入した企業

2008年～2017年の10年間で、県外から岡山県へ転入した企業139社を業種別でみると、『製造業』『サービス業』がそれぞれ33社（構成比23.7%）で最も多かった。次いで、『卸売業』が26社（18.7%）、『小売業』が18社（12.9%）、『運輸・通信業』が11社（7.9%）、『建設業』が10社（7.2%）、『不動産業』が7社（5.0%）で続いた。

県外から岡山県へ転入した企業

業種	社数	構成比
製造業	33	23.7%
サービス業	33	23.7%
卸売業	26	18.7%
小売業	18	12.9%
運輸・通信業	11	7.9%
建設業	10	7.2%
不動産業	7	5.0%
その他	1	0.7%
合計	139	100.0%

○岡山県から県外へ転出した企業

2008年～2017年の10年間で、岡山県から県外へ転出した企業109社を業種別でみると、『サービス業』が35社（構成比32.1%）で最も多かった。次いで、『製造業』が16社（14.7%）、『卸売業』が15社（13.8%）、『建設業』『小売業』がそれぞれ12社（11.0%）、『運輸・通信業』が9社（8.3%）で続いた。

岡山県から県外へ転出した企業

業種	社数	構成比
サービス業	35	32.1%
製造業	16	14.7%
卸売業	15	13.8%
建設業	12	11.0%
小売業	12	11.0%
運輸・通信業	9	8.3%
不動産業	6	5.5%
その他	4	3.7%
合計	109	100.0%

3. 年商規模別、転入企業は『1億円以上10億円未満』がトップ

○県外から岡山県へ転入した企業

2008年～2017年の10年間で、県外から岡山県へ転入した企業139社について、年商規模別でみると、『1億円以上10億円未満』が62社（構成比44.6%）で最も多かった。次いで、『1億円未満』が46社（33.1%）、『10億円以上100億円未満』が24社（17.3%）で続いた。なお、『100億円以上』は7社（5.0%）あった。

県外から岡山県へ転入した企業

年商規模	社数	構成比
1億円未満	46	33.1%
1億円以上10億円未満	62	44.6%
10億円以上100億円未満	24	17.3%
100億円以上	7	5.0%
合計	139	100.0%

○岡山県から県外へ転出した企業

2008年～2017年の10年間で、岡山県から県外へ転出した企業109社について、年商規模別でみると、『1億円未満』『1億円以上10億円未満』がそれぞれ43社（構成比39.4%）で最も多かった。次いで、『10億円以上100億円未満』が17社（15.6%）で続いた。なお、『100億円以上』は6社（5.5%）あった。

岡山県から県外へ転出した企業

年商規模	社数	構成比
1億円未満	43	39.4%
1億円以上10億円未満	43	39.4%
10億円以上100億円未満	17	15.6%
100億円以上	6	5.5%
合計	109	100.0%

4. 岡山県からの転出移転先、『東京都』がトップに

○岡山県へ転入した企業の移転元

都道府県別でみると、2008年～2017年の10年間で県外から岡山県へ転入した企業139社のうち、『広島県』(37社・構成比26.6%)から転入した企業が最も多かった。次いで、『大阪府』(25社・18.0%)、『東京都』(20社・14.4%)と大都市からの転入が32.4%を占めた。4位は『兵庫県』(14社・10.1%)、5位は『鳥取県』(10社・7.2%)と、隣県からの転入が続いた。

岡山県へ転入した企業の移転元 上位都道府県

	都道府県	社数	構成比
1	広島県	37	26.6%
2	大阪府	25	18.0%
3	東京都	20	14.4%
4	兵庫県	14	10.1%
5	鳥取県	10	7.2%
6	山口県	5	3.6%
7	香川県	3	2.2%
	三重県	3	2.2%
	愛知県	2	1.4%
	佐賀県	2	1.4%
	石川県	2	1.4%
	栃木県	2	1.4%
	奈良県	2	1.4%
	福岡県	2	1.4%
	合計	139	—

○岡山県から転出した企業の移転先

都道府県別でみると、2008年～2017年の10年間で岡山県から県外へ転出した企業109社のうち、『東京都』(29社・構成比26.6%)へ転出した企業が最も多かった。次いで、『大阪府』(24社・22.0%)、『広島県』(19社・17.4%)、『兵庫県』(10社・9.2%)、『愛媛県』(4社・3.7%)が続いた。

岡山県から転出した企業の移転先 上位都道府県

	都道府県	社数	構成比
1	東京都	29	26.6%
2	大阪府	24	22.0%
3	広島県	19	17.4%
4	兵庫県	10	9.2%
5	愛媛県	4	3.7%
	愛知県	3	2.8%
6	京都府	3	2.8%
	山口県	3	2.8%
	福岡県	3	2.8%
	宮城県	2	1.8%
10	千葉県	2	1.8%
	徳島県	2	1.8%
	合計	109	—

まとめ

今回の分析で、この10年間でみると他県から岡山県へ転入した企業数が岡山県から他県へ転出した企業数を上回る、いわゆる「転入超過」となっていることがわかった。2017年は3年ぶりに転入超過となった。ただ、岡山県から転出した企業の移転先はトップが『東京都』の29社、2位が『大阪府』の24社だった。こうした大都市圏へ転出する背景には、優秀な人材や豊富な情報量、大きい市場でのビジネスチャンスを掴もうとする企業の思惑があると考えられ、今後は岡山県から転出する企業が増加する可能性もある。

東京都や大阪府などの大都市圏から岡山県に本社を移転する企業を増やすためには、税制面の優遇や助成金などのサポートに加え、通勤ラッシュからの開放や自然を満喫できる生活環境など東京の日常生活では味わえないライフスタイルの提案や子育て、老後生活など、働く人たちのワークライフバランスを意識した施策の充実も重要となってくるだろう。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 岡山支店 担当：須賀原
TEL 086-224-4681 FAX 086-223-1719

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

【参考】2017年の転入・転出企業について

1. 業種別

■転入企業

業種	件数	構成比
建設業	0	0.0%
製造業	1	7.7%
卸売業	2	15.4%
小売業	2	15.4%
運輸・通信業	2	15.4%
サービス業	5	38.5%
不動産業	1	7.7%
その他	0	0.0%
合計	13	100.0%

■転出企業

業種	件数	構成比
建設業	2	18.2%
製造業	0	0.0%
卸売業	1	9.1%
小売業	0	0.0%
運輸・通信業	1	9.1%
サービス業	5	45.5%
不動産業	2	18.2%
その他	0	0.0%
合計	11	100.0%

2. 年商規模別

■転入企業

年商規模	件数	構成比
1億円未満	8	61.5%
1億円以上10億円未満	5	38.5%
10億円以上100億円未満	0	0.0%
100億円以上	0	0.0%
合計	13	100.0%

■転出企業

年商規模	件数	構成比
1億円未満	7	63.6%
1億円以上10億円未満	3	27.3%
10億円以上100億円未満	0	0.0%
100億円以上	1	9.1%
合計	11	100.0%

3. 転入企業の移転元・転出企業の移転先（都道府県）

■岡山県へ転入した企業の移転元

	都道府県	件数	構成比
1	広島県	4	30.8%
2	石川県	2	15.4%
	大阪府	2	15.4%
	兵庫県	2	15.4%
5	鳥取県	1	7.7%
	東京都	1	7.7%
	栃木県	1	7.7%
	合計	13	100.0%

■岡山県から転出した企業の移転先

	都道府県	件数	構成比
1	東京都	4	36.4%
2	大阪府	3	27.3%
3	兵庫県	2	18.2%
4	広島県	1	9.1%
	徳島県	1	9.1%
	合計	11	100.0%